

高志ⅢAB論文作成ガイダンス



探究推進課

何のために研究成果を公表するのか？

(1) 多くの人に研究内容を理解してもらうため

→ 成果を公表すると、同じような内容で研究したいと考えている人が興味を持ち、先行研究として調べます。

→ 研究が進展し、課題解決につながります。

(2) 社会的な責任を果たすため

→ 多くの研究は国などの補助金で行われています。

→ どのような成果が出ているか示す必要があります (SSH)。

研究論文とは

- 紙面に研究内容をまとめて、読者に伝える方法(≠作文)。
- 成果物が紙面として形に残るため、学会発表とは比較にならないほど、たくさんの人に研究成果を伝えることができる。
- 研究の重要な側面である再現性(すなわち読者が全く同じ研究結果を得ることができる)を読者に伝えるために、研究の対象や、研究方法、条件、得られた結果などを丁寧に記載する必要がある。

皆さんは、↑を身につけようと、挑戦しています

研究論文作成を通じて身につけるスキル(例)

- 一連の探究活動を通して得られた研究内容を俯瞰し、必要な部分を抽出し、再現性があり、他者が理解しやすいように論理的に文章を組み立てるスキル。

(論文だけではなく、さまざまな文章で必要となるものです)

- 著作権を正しく理解し、守るスキル。

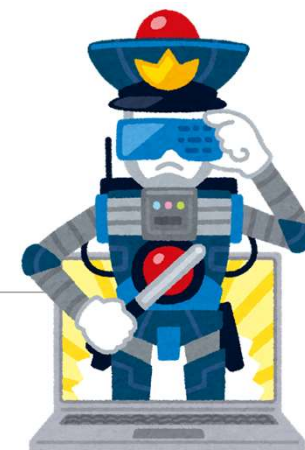
(必ず守らなければならないルールです)



やってみよう!

これらのスキルは、取り組んだ人にしか身につけません。

研究論文の書き方



- 研究論文は、決められた形式で書きます。

発表・論文 の見出し順	タイトル → 要約 → 1はじめに(研究動機、先行研究、研究目的・仮説) → 2研究方法 → 3結果 → 4考察 → 5結論 → 謝辞・参考文献
----------------	---

- 自分たちの研究結果なのか、他者の研究結果(先行研究)なのか分けて書きます(違いが分かるように書きます)。
- もし、他者の結果を引用せず自分の結果として公表したら、盗用(犯罪)です。

引用する必要がある場合

- 論文を作成する際に、これまでの知見として先行研究で分かっていることを示す。
 - 先行研究の実験方法を参考にして、実験を行った。
 - etc
- ※ ただ読んだだけ、自身の研究で参考にしていない場合は、引用する必要はありません。

引用したら、参考文献に必ず書く

引用を用いる場合には、以下の書き方にならって表す。

著者が二人まで	平泉 (2006) によると、…ということが知られている (平泉, 2006)
著者が三人以上	水沢ら (2004) によると、…ということが知られている (水沢ら, 2004)

参考文献

・引用方法と参考文献は2つで1セットであり、どちらか一方がかけても研究不正 (盗用) になるので、以下のルールに従って提示しなければならない。

論文の場合 名前 (発行年) : 論文タイトル, 雑誌名, ページ.

例) 水沢太郎, 飛龍花子 (2004), 炭酸カルシウムの純度に関する考察, 平成 23 年度岩手県立水沢高等学校理数科課題研究集, 12-15.

書籍の場合 名前 (発行年) : 書籍名, 出版社, 全ページ数.

例) 東山紀幸 (2013) : 北上山地の地質と地形, 磐井出版, 250 p.

インターネットの場合 名前 (掲載年) : タイトル, URL (資料にアクセスした日).

例) 平泉誠 (2006) : 世界遺産と大理石, <http://www.…….co.jp/> (2021.2.1)

図・表の書き方

- ・ 図のタイトルは図の下部に、表のタイトルは表の上部に、それぞれつける。

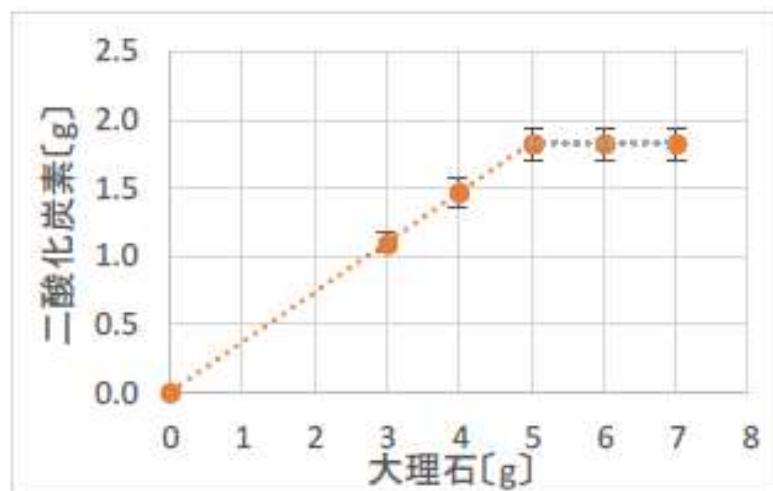


図3. 一定量の塩酸と反応する大理石の質量と二酸化炭素の発生量

表1. 大理石の色と炭酸カルシウムの含有率の比較

大理石		CaCO ₃ の含有率[%]
産地	色	
日本	白	83
イタリア	灰色	76
中国	黒	57

論文を作成するために

- 先行研究や先輩の作成した論文の中で、質の高い論文を参考にしてください。
(SSHの部屋の論文から、見本となるものを探しましょう。)
- 探究のカゴ内にある「課題研究メソッド」等も参考にしてください。
- 与えられた情報以外にも参考になるものたくさんあります。自分たちで、必要な追加の情報を探し活用しましょう。

研究論文を、進路で活用する
先輩もいます。



より高い質の論文になるよう
分担する等、協力して取り組みましょう。



(終)